

睦沢町の過去の災害

日本は、火山、断層が日本全国にあり、プレートが重なり合う地であることから地震が起こりやすいとともに、海流の影響を受け、季節ごとに気象変動が起こりやすいところです。

本町のある房総半島は、東方沖にプレート断面をかかえ、地震津波の危険があるとともに、3方を海に囲まれ、黒潮海流から運ばれた湿った空気により気象が影響を受けやすい地域です。そして、災害になりうる自然事象は50年、100年さらには数百、数千年という長期の単位で生じる可能性があります。

睦沢町も過去から繰り返し災害を受けています。過去に起こった災害は、繰り返し起こる可能性が高いといえます。過去の災害を知り、本町の特性などから身のまわりで起こりうる自然事象等を考え備えましょう。

地震によるもの

- **関東大震災**（大正12年9月1日）
家屋壁土振り落ち、一部損壊、倒覆、住家倒潰、非住家倒潰、非住家半潰、家屋倒潰による死者1名、軽傷者数名、瑞沢小学校一部損壊
- **東方沖地震**（昭和62年12月17日）
住家被害のほとんどが屋根瓦の崩落
- **東日本大震災**（平成23年3月11日）
住家非住家ともに一部損壊

大風、大雨、台風によるもの

- **昭和13年 大水害**
6月上旬…向新田橋流失
10月21日…北川、川瀬、南川、富貴棠等の橋梁の流失、大破損
このほか…家屋浸水、道路欠損
- **昭和44年6月 梅雨前線**
がけ崩れ 瑞沢小学校校舎の3分の1が倒壊、軽傷者1名
- **昭和45年 関東地方南部の大雨**
降雨量約300mm、鉄砲水によるがけ崩れ、堤防決壊、中学校校庭の流失、道路決壊103か所、橋梁流失6か所、河川堤防決壊11か所、家屋倒壊および破損22か所、床上浸水74世帯、床下浸水199世帯、川島久保地区では孤立
- **昭和46年 台風25号**
降雨量424mm、がけ崩れ、河川の氾濫堤防の決壊、中学校校庭土砂流失、瑞沢小学校プールサイド土羽の崩落、各学校の校舎の破損、道路決壊112か所、橋梁流失2か所、河川堤防決壊5か所、家屋の全半壊7世帯、床上床下浸水149世帯、川島久保地区の孤立
- **昭和47年12月の豪雨**
女ヶ堰堤防決壊など道路、橋梁、河川の被害23か所、家屋の半壊、一部損壊4棟、床上浸水11戸、床下浸水94戸
- **平成元年 台風12号**
床上浸水2戸、床下浸水5戸
- **平成8年 台風17号**
床上浸水165戸、床下浸水12戸

風水害対策

大雨や強風は、わたしたちに何度も大きな災害をもたらしています。ふだんから気象情報に十分注意し、避難の際もみんなで協力しましょう



大雨情報キャッチ

こんなときのわが家の安全対策。

大雨注意報・警報・特別警報の発表基準

大雨注意報

大雨によって災害が起こるおそれがあると予想される場合。

大雨警報

大雨によって重大な災害が起こるおそれがあると予想される場合。

大雨特別警報

台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予測され、若しくは数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により大雨になると予想される場合。

上記に併せて、洪水注意報・洪水警報が発令されます。
気象庁にて、地震により、地盤の緩みを考慮し、揺れの大きかった市町村については、大雨警報・注意報の発表基準（土壌雨量指数基準）を暫定的に引き下げて運用する場合があります。

風の強さ吹き方（平均風速：m/秒）

10以上～15未満	15以上～20未満	20以上～25未満	25以上～
風に向かって歩きにくくなる。傘がさせない。	風に向かって歩けない。転倒する人もいる。	しっかりと身体を確保しないと転倒する。風で飛ばされた物で窓ガラスが割れる。	立っていられない。屋外での行動は危険。樹木が根こそぎ倒れはじめる。

台風

日本には毎年多数の台風が接近あるいは上陸し、たびたび大きな被害をもたらします。台風の接近が予想される際は、台風情報に十分注意し、被害のないように備えることが必要です。

■ 台風の大きさと強さの目安

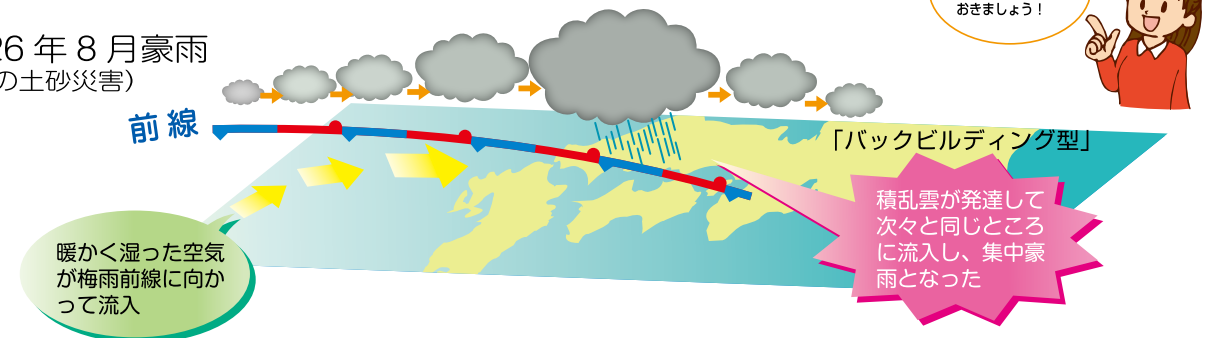
大きさ	風速15m/s以上の半径	強さ	最大風速
大型（大きい）	500km以上800km未満	強い	33m/s以上44m/s未満
超大型（非常に大きい）	800km以上	非常に強い 猛烈な	44m/s以上54m/s未満 54m/s以上

集中豪雨

集中豪雨は、限られた地域に、突発的に短時間に集中して降る豪雨で、梅雨の終わりごろによく発生します。発生の予測は比較的困難で、中小河川の氾濫、土砂崩れ、がけ崩れなどによる大きな被害をもたらすことがありますので、気象情報に十分注意し、万全の対策をとることが必要です。

- ラジオやテレビなどの気象情報に注意をする。
- 早く帰宅し、家族と連絡を取り、非常時に備える。
- 防災行政無線や防災情報メールをよく確認しておく。
- 飲料水や食料を最低でも3日分、できれば1週間分確保しておく。
- 停電に備え懐中電灯や携帯ラジオを用意する。
- 浸水に備えて家財道具は高い場所へ移動する。
- 非常時持出品を準備しておく。
- 危険な地域では、いつでも避難できるよう準備をする。

平成26年8月豪雨
（広島市の土砂災害）



目次

風水害対策

- 1 大雨情報キャッチ
- 1 風の強さ吹き方
- 1 台風
- 1 集中豪雨
- 2 川の氾濫等
- 2 土砂災害
- 3 住民の取るべき行動
- 3 避難の心得
- 4 洪水ハザード情報について

地震対策

- 5 地震発生時の時間経過別行動マニュアル

火災対策

- 6 初期消火の3原則
- 6 消火器の使い方・かまえ方
- 6 火災警報機の設置義務化

わが家の防災対策

- 7 家の中の安全対策
- 7 家具の転倒、落下を防ぐポイント
- 7 家の周囲の安全対策

非常時持出品の準備

- 8 非常時持出品
- 8 非常時備蓄品
- 8 避難生活が長引くときに便利なもの
- 8 大震災で役に立ったもの

ハザードマップ

- 9 睦沢町全域図
- 10～27 エリアマップ

避難所一覧

- 28 広域避難場所
- 28 自主防災組織避難場所
- 28 協定一時避難場所
- 28 協定している福祉避難所予定施設

わが家の防災メモ

- 29 わが家の防災メモ